

平成 25 年度第 1 回まちづくり井戸端座談会の結果について

日 時：平成 25 年 5 月 24 日（金）19：00 ～ 21：00

場 所：野洲市役所本館 3 階 第 1 委員会室

<参加者>

- ・ 市民参加者 3 名
- ・ 山仲野洲市長、富田政策調整部長、山本都市建設部長、和田都市建設部次長、川端健康福祉部政策監、企画調整課（事務局）



<目的>

直近四半期の市政運営や議会で話題になった市民に関心の高いトピックスを集約して最新の状況を報告し、市民の皆さんと気軽に雑談的な雰囲気の中で意見交換をしようとするもの。

<議題>

◎テーマ 1 平成 25 年度施政方針について

「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち」をめざし、防災や子育て、就労支援、クリーンセンターの整備や篠原駅や野洲駅の整備等、市民の安全安心なまちづくりに取り組んでいく。

◎テーマ 2 野洲駅南口周辺整備構想（野洲駅南口のにぎわいづくり）について

野洲駅南口を市民活動拠点の中心として、にぎわいと心と体の健康をテーマに市民サービスの提供やコミュニティの場として、約 20 年後を見据えながら、市民主体で検討している。

◎テーマ 3 国道 8 号野洲栗東バイパスの進捗状況について

国道 8 号野洲栗東バイパスについて、現在、幅杭の打設を行い、今後は用地買収に向けて、用地説明や測量を行っていく。また合わせて地元への説明等を行っている。

◎テーマ4 こども園の整備状況と今後の整備計画について

耐震化や待機児童に対する対策や環境を整えるため、野洲市幼保一元化計画および幼稚園・保育所施設整備計画に基づき、緊急性の高い地域から幼保一元化の整備に向けて着手していく。

参加者からの主な意見

【○：市民意見、→：市回答】

1. 平成25年度施政方針について

○発達障害に対する具体的な対策はあるのか。また学校の対応や医療的な面からの支援はどうか。

→学校では、加配教員を配置して、学童保育についても、障がい児の受け入れをしている。財源に限りはあるが積極的な支援をしていく。障がいは病気ではないため、医療ということではなく、必要なサポートをしていく。

○障がい者への理解の問題について、特に就労対策について、行政としてどのような取り組みをしようとしているのか。また行政から企業へ何らかのアプローチをされているのか教えてほしい。

→障がい者への理解については、気付きの問題であるため、情報の共有化を進めていく。特に差別については大きな問題であるので、しっかりと取り組んでいかなければならない。就労については、パーソナルサポートサービスをはじめ、正規雇用や共同作業所等への就労支援を行っている。またトレーニングの一つとして、市役所での職場体験を行っている。

○野洲市では、小学校などの加配教員の設置など障がい者に対する支援がしっかりとなされており、野洲の自慢・誇りであると思っている。もっとPRしてはどうか。

→市外の方からも評価をいただいているが、実際に住むことで満足を感じていただけるサービスとして進めている。

2. 野洲駅南口周辺整備構想（野洲駅南口のにぎわいづくり）について

○駅前に商店が少ないので、駅前には商業的なにぎわいを充実してほしい。

→市民が集まる状況をつくることによって、駅前周辺の活性化が自ら進んでいくと考えている。

○比較的高い建物が建つイメージだが、周囲の景観を考えて構想を練ってほしい。

○駅前周辺の整備について、現在、市が持っている土地だけで構想してはどうか。

→市以外の土地も連動することが望ましいが、現在の構想は市の土地を中心として考えている。

○関心がないわけではないが、十分な情報が得られていない。市民が必要としている場所をどういう形でつくっていくかが大事であるため、もう一度地域に問いかけてもらいたい。

→駅前の土地を購入する際にも、半年以上、公開で議論を行ったが、具体的な意見が出てこなかった。駅前の土地は貴重であるからこそ、早期の整備着手が望ましい。コミュニティの拠点や病院の整備についても、その中で考えたい。

- 野洲駅南口周辺の対象地域を広げて整備計画を立てたほうがよいのではないかと。
→新しいマンションも立っており、住居もあることから現実的には厳しいと考えている。
- 野洲駅南口ロータリーの屋根(シェルター)が高すぎるのではないかと。
→現在の基準による高さで計画している。

3. 国道8号野洲栗東バイパスの進捗状況について

- 国道8号バイパスが30年間進捗しなかったことについて、行政の取組みが不十分だったのではないかと。
→今まで地域一丸となって取り組んでこなかった行政の責任である。国、市が一体となって渋滞解消や安全確保のため積極的に取り組んで行きたい。
- 国道8号バイパスが開通された場合、現在の国道や県道の渋滞は緩和されるのか。
→通過交通についてはバイパスに流れるため、本道の通行量が減り、県道側に時間を割くことができ、現在の国道や交差する県道の渋滞は解消される。

その他

<病院の整備について>

- 議員の1/3が反対されているが、市民生活に密着した課題であるため、病院の整備については早く決定した方が良く、市内での病院整備は必要と考えているがどうか。
→市財政の点からも病院整備の方針を早期に決定したい。一方で病院の整備には大きなリスクが伴うため、議員の大多数の賛成を得る必要があると考えている。
- 市内により安全に生活できる施設が必要であり、病院はあったほうがよい。税金が投入されるので、市民のニーズやメリットのあるものを整備してほしい。
→病院整備の是非を決定し、その後詳細に検討していく。初期投資は市の税金を投入することとなるが、全体としては市民負担のない形での運営が可能であると考えている。
- 野洲病院の経営の状況について教えてほしい。
→赤字の補填については、野洲市から補助があるので、その結果として黒字となっている状況である。
- 駅前に病院を整備する際には、駅から直結した動線やコミュニティバスが病院の玄関前に着くなどのアクセスのよいものにしてほしい。